

貸借対照表

2025年3月31日現在

株式会社アルカンシエル
第 43期

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	248,054	流動負債	1,113,641
現金及び預金	125,438	買掛金	328,030
売掛金	6,180	1年内返済予定の長期借入金	71,436
商品	25,524	リース債務	2,541
貯蔵品	5,280	未払金	132,697
前払費用	55,773	未払費用	60,809
未収入金	25,742	未払法人税等	12,868
その他	4,114	前受金	408,398
		預り金	6,534
固定資産		賞与引当金	53,445
有形固定資産	1,097,278	その他	36,879
建物	1,018,063	固定負債	1,733,196
構築物	26,082	長期借入金	867,363
機械及び装置	0	長期リース債務	3,802
車輛運搬具	0	預り保証金	283,000
工具器具備品	46,969	役員退職慰労引当金	3,000
リース資産	6,162	資産除去債務	576,030
無形固定資産	71,924		
ソフトウェア	71,348	負債合計	2,846,837
その他	575	純資産の部	
投資その他の資産	1,438,298	株主資本	8,717
関係会社株式	10,000	資本金	58,600
出資金	1,510	利益剰余金	△ 49,882
差入保証金	562,282	利益準備金	14,650
繰延税金資産	849,498	その他利益剰余金	△ 64,532
その他	15,006	別途積立金	4,080,000
		繰越利益剰余金	△ 4,144,532
		純資産合計	8,717
資産合計	2,855,554	負債純資産合計	2,855,554

個別注記表

1. 会計方針に関する事項

① 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 商品

最終仕入原価法による原価法

ロ 貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

② 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産（リース資産を除く）

建物（建物附属設備を除く）

定額法

建物以外の有形固定資産

定率法

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっております。
なお、事業用定期借地契約による借地上の建物及び構築物につきましては、主に耐用年数を定期借地権の残存年数とした定額法によっております。

耐用年数は次の通りであります。

建物 3年～41年

機械及び装置 10年

車輛運搬具 4年～7年

工具器具備品 2年～15年

ロ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

ハ 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、耐用年数は、次の通りであります。

ソフトウェア 5年

③ 重要な引当金の計上基準

イ 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

ロ 役員退職慰労引当金

役員の特別功労金支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

④ 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。取引の対価は履行義務を充足してから主として1年内以内に受領しているため、重要な金融要素は含んでおりません。また、対価の金額が変動しうる重要な変動対価はありません。

主に顧客に挙式披露宴サービスの提供を行っております。これについては、挙式披露宴が終了した時点で履行義務が充足されると判断し、終了時に収益を認識しております。

なお、挙式披露宴サービスのうち、代理人に該当すると判断したもの（衣裳レンタル及び装花等）については、顧客から受取る対価の総額から外注先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識しております。

2. 当期純利益

当期純利益は、281,956千円であります。